

受05887類

大正九年二月廿六日 接獲

駐通薦 第一課

公第四四號

大正九年二月二十一日

大正九年七月拾貳日記録係

在吉林

總領事 森田實藏



外務大臣子爵内田康哉殿

管内状況報告方ニ関スル件

本件ニ関シ通一送第三七號貴信ヲ以テ
重テテ御訓達ノ趣致敬承候旨見ハ早業キニ
御訓達ニ接スルヤ可成ク調査ノ完壁ヲ期スル
爲メ廣ク資料ノ蒐集ニ相當日子ヲ費シ
漸ク起稿ニ着手スニ是非期間内ニ提出ノ苦ナ

在吉林日本領事館

リニ處御承知ノ通端ナク吉奉問題惹起ノ爲
メ右調査ヲ一時中止スルノコトナキニ至テ事件終
了後天尚ホ種々紛雜セル館務ノ整理ニ追ヒ加
フルニ長岡書記生ノ後任長ク未着等ノ爲メ館
員半不足トナリ遂ニ提出期間ニ遅延ノ來ニタル
次第ニ有之候就テハ其後各員努力ヲ目下既
ニ過半ヲ終ラシ通一送第三八號提出ノ見
込有之候間右事情御酌察ノ上暫時御猶
豫相成度此後回答申進候敬具

大正九年三月廿五日發

陸通薦 第一課

陸通 陸通 陸通

公事七カ

大正九年三月十九日

在吉林

總領事 森田寛

森田寛印

文書課長 文書課長 長松印

大正九年四月十三日發

外務大臣子爵内田康哉 敬

送附 四三八號

大正九年四月拾三日 記録第一二部控

通商局長

政務局

森

農商務省

寫送付
三月三日

2427
9
08976

米人、水田事業計畫書之報告件

最近吉林省地方に於ける米人水田事業計畫書ノ摘要

豫テ聞知之相當注意を拂て居る處に於て今回嚴

密内偵の結果入手したる情報ニ依りて旧曆十二月十七

日頃、鮮人申某(在北京)、韓族ニ依りて徐省長ハ

米人習恩義(支那音)ト談合し吉林省外十二縣

在吉林日本總領事館

和龍、延吉、琿春、汪清、敦化、樺甸、依蘭、寧安

磐石、五常、榆樹、濛江、各縣)ニ亘り水田事業ノ

計畫ヲ爲す之が資本金トシテ米貸百萬井ヲ北京

「インターナショナル・バンク」ヨリ借款

スルコト、之右借款成立、上ハ省城ニ水田局ヲ設ケ米

國留學生出身者トシテ現ニ省長公署員タル唐

某ヲ以テ該局長ト任シ各地ヨリ鮮人ヲ募集集計シテハ

作ヤミムルコトニ決シ省長ハ今回晋京、上直ニ前記

銀行側ト具體的打合ヲ爲ス事ナリトコトナル分省

長、意圖ハ可成米國側ヲ表面ニ立タシメサルカ

カ如シ右ハ徐省長が果シテ眞面目ニ計畫シツアル

モノナルヤ甚ダ疑ハシク或ハ自己ノ地位カ最近頗ル衰

降ニ瀕セル爲メ此際巧ニ米國側ヲ操リ運動費

REEL No. 1-0766

0167

ヲ檢出セシ考ニアラサルカトモ觀測ヤラシクハ亦アリヌ
當省ノ如キ荒地多キ地方ノ開墾ハ自國民ノミニテハ至
難ナルヲ以テ右計更ニ下ニ最初ハ作料ヲ徵ヤスニテ答
易ニ鮮人ヲ招募シ来リ數年俟開墾ヲ了シタル上ハ漸
次策ヲ設ケテ該鮮人農民ヲ放逐ヤントスル謀計ナラ
ズヤトモ思ヒテマシラ
右及報告候故具

在吉林日本總領事館

第 第 第
項 門 第
第 第 第

秘受039

通商局長

第 第 第
第 第 第

心かる

大正九年四月五日 接受

駐通商

第二課

機密第四

大正九年三月廿五日

在吉林

總領事 森田寛



外務大臣子爵内田康哉殿

大正九年五月六日

記録第二部接受

米支水田経営之関之報告ノ件

本件之関シテハ曩ニ公ヲ七五號拙信ヲ以テ及報置
 其後為館鮮人密偵ノ報告ニ依テ最近支那
 側ニ於テ設立セル水農公司ナルモノハ着々事業ノ
 進行ヲ計リ裴亮其他有力鮮人ヲ各地ニ派シテ
 鮮人農夫ヲ募集セシメ蒐登河大荒地等地方
 へ移住セシメントシテアルモノ如ク其裏面ハ米國人潛
 在シ且下ノ処直接事業經營ニ任シ居ラスト是實
 在ニ農具等ノ供給ヲ為シ間接ニ操縦スルニテ
 兼諾シ居ルヲシテ而シテ將來米人カ此等農民
 ニ對シ貸與セシトスル耕作資力中其現在ハ收穫
 三分ノ一又土地及農耕者ニ對シ食料及農具等
 ヲ貸與シ免場者ハ全收穫ヲ折半スベキ契約ヲ
 用ヒント目下考案中ナリトシテ云々
 右不取敢及報告英敬具
 写送付先

在支公使 奉天總領事 俾本抄七五號中書

作